

愛称：杏の実(年2回決算型)

追加型投信／海外／債券

信託期間：2008年10月27日 から 無期限

基準日：2025年9月30日

決算日：毎年5月15日および11月15日(休業日の場合翌営業日)

回次コード：3105

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

《基準価額・純資産の推移》

2025年9月30日現在

基準価額	23,794 円
純資産総額	137百万円

期間別騰落率

期間	ファンド	豪ドル	NZドル
1カ月間	+1.8 %	+2.0 %	-0.5 %
3カ月間	+3.3 %	+3.6 %	-1.9 %
6カ月間	+6.6 %	+4.2 %	+0.9 %
1年間	+1.9 %	-0.9 %	-5.2 %
3年間	+15.1 %	+4.0 %	+3.7 %
5年間	+25.7 %	+29.7 %	+23.2 %
年初来	+2.6 %	-0.6 %	-3.5 %
設定来	+142.3 %	+67.3 %	+63.2 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。為替の騰落率は、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を採用し、算出しています。
※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

《分配の推移》

(1万口当たり、税引前)

決算期(年/月)	分配金
第1～21期 合計：	210円
第22期 (19/11)	10円
第23期 (20/05)	10円
第24期 (20/11)	10円
第25期 (21/05)	10円
第26期 (21/11)	10円
第27期 (22/05)	10円
第28期 (22/11)	10円
第29期 (23/05)	10円
第30期 (23/11)	10円
第31期 (24/05)	10円
第32期 (24/11)	10円
第33期 (25/05)	10円
分配金合計額	設定来：330円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

《主要な資産の状況》

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産別構成	資産	銘柄数	比率
外国債券		84	97.7%
コール・ローン、その他※			2.3%
合計		84	100.0%

債券 種別構成	種別	比率
州債等		55.0%
国際機関債		19.2%
政府機関債		14.3%
国債		9.2%

通貨別構成	通貨	比率
豪ドル		90.7%
ニュージーランド・ドル		8.4%
日本円		0.9%

債券 ポートフォリオ特性値	
直接利回り(%)	3.5
最終利回り(%)	4.2
修正デュレーション	4.3
残存年数	5.1

債券 格付別構成	格付別	比率
AAA		59.6%
AA		40.4%
A		---
BBB		---
BB以下		---

※債券 格付別構成の比率は、債券ポートフォリオに対するものです。

※債券 ポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等の各特性値(直接利回り、最終利回り等)を、その組入比率で加重平均したものです。
※格付別構成については、当社所定の基準で採用した格付けを基準に算出しています。

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。当ファンドの取得をご希望の場合には投資信託説明書(交付目論見書)を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上ご自身でご判断ください。後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。

設定・運用：

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

加入協会

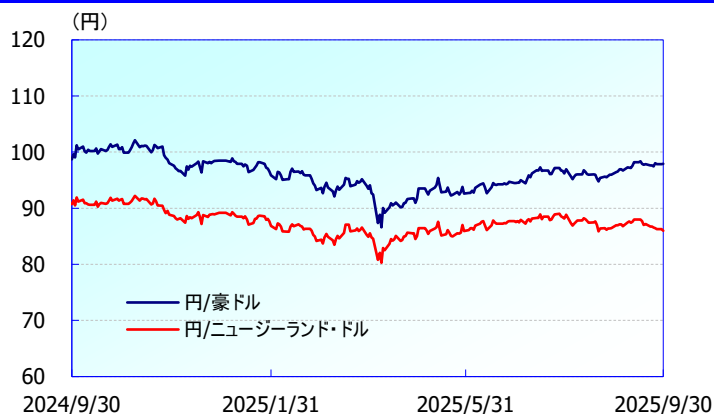
組入上位10銘柄				合計25.3%
銘柄名	通貨	利率(%)	償還日	比率
QUEENSLAND TREASURY CORP.	豪ドル	3.5	2030/08/21	3.2%
ASIAN DEVELOPMENT BANK	豪ドル	3	2026/10/14	2.8%
AUSTRALIA (COMMONWEALTH OF)	豪ドル	4.25	2035/12/21	2.8%
WESTERN AUSTRALIAN TREASURY CORP.	豪ドル	4.25	2033/07/20	2.8%
AUSTRALIA (COMMONWEALTH OF)	豪ドル	3.75	2034/05/21	2.4%
Auckland Council	豪ドル	3.5	2026/03/09	2.4%
KOMMUNALBANKEN	豪ドル	3	2026/12/09	2.4%
TREASURY CORP VICTORIA	豪ドル	4.25	2032/12/20	2.2%
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	ニュージーランド・ドル	2.25	2031/05/15	2.2%
TREASURY CORP VICTORIA	豪ドル	1.5	2030/11/20	2.1%

※比率は、純資産総額に対するものです。

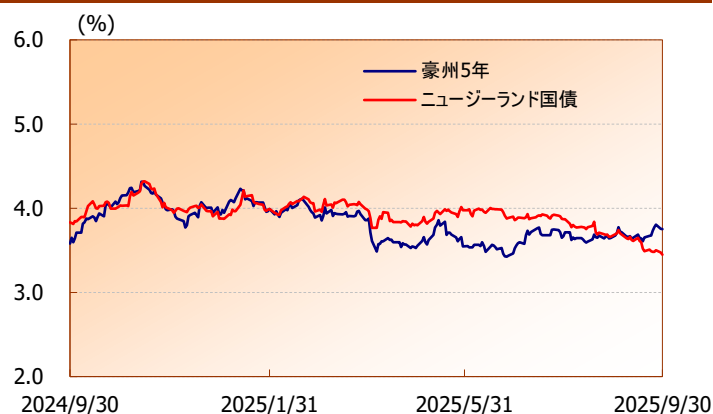
《参考》各国為替と金利の動き

(2024年9月30日～2025年9月30日)

為替の推移



国債利回り



※ニュージーランド国債は、「NZD New Zealand Government Bond BVAL Yield Curve 5 Year」の利回りを使用しています。

(出所)ブルームバーグ、大和アセットマネジメント

【豪州・ニュージーランド投資環境】

ニュージーランドのGDPは大幅な下振れ

豪州では、4-6月期のGDP（国内総生産）は市場予想を上回る結果となりました。

ニュージーランドで発表された4-6月期のGDPは市場予想を大幅に下回り、マイナス成長となりました。

債券市場：豪州債券金利はおおむね上昇、ニュージーランド債券金利は低下

オセアニア債券市場では、GDPや月次インフレ率が市場予想を上振れたことなどから、利下げ期待が後退し、豪州金利はおおむね上昇しました。ニュージーランドでは、GDPが市場予想を大幅に下回りマイナス成長となったことを受けて、RBNZ（ニュージーランド準備銀行）による積極的な利下げへの期待が高まったことから、金利は低下しました。

為替市場：豪ドルは上昇、ニュージーランド・ドルは下落

オセアニア通貨は対円でまちまちとなりました。豪ドルは、堅調な経済指標を受けて利下げ期待が後退したことなどを背景に、対円で上昇しました。ニュージーランド・ドルは、GDPの下振れなどから追加利下げへの期待が高まり、内外金利差の縮小が意識されたことなどから、対円で下落しました。

【ファンドの運用状況】

月間の動き

豪ドルが円に対して上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

運用のポイント

当ファンドでは州債や国際機関債に引き続き積極的に投資を行いました。これらの債券は国債とほぼ同等の信用力を有しながら、国債より高い利回りが得られるためです。また国債のイールドカーブ上での投資妙味などを分析しながら、ポートフォリオの利回りの引き上げに努めました。

【今後の見通し】

債券市場：金利は神経質な展開が続くと見込む

豪州では、インフレ率がRBA（豪州準備銀行）の予想を上回る可能性も懸念される中で、労働市場は堅調さを維持しており、次回のRBAによる政策判断が注目されます。11月での追加利下げの可能性は従来よりも後退しているものの、今後の経済指標の結果次第で、利下げ織り込みが変動し、大きく金利が動くことも想定され、金利は神経質な展開が続くと見込んでいます。

為替市場：利下げ見送りの場合は、豪ドルへの金融政策の影響は限定的とみる

豪州では、RBAによる追加利下げの可能性は低下しており、次回のRBAにて金融政策の変更がない場合は、豪ドルへの影響は限定的と考えています。そのため、今後の経済指標で、利下げ織り込みが高まる展開などには注意が必要です。また、他の先進国と比較して財政悪化の懸念が薄いことは、豪ドルの支援材料だとみています。

今後については、豪州の主要な貿易相手国である中国と米国の通商交渉の行方に注意を払う必要があると考えています。大幅な関税率の適用はいったん回避されましたが、今後も継続される交渉が難航する場合は豪州経済の下押し圧力として想定され、その動向に注目です。

豪ドル、ニュージーランド・ドル上昇要因	豪ドル、ニュージーランド・ドル下落要因
● 株式市場や商品価格の上昇 ● 利上げ観測の高まり	● 利下げ観測の高まり ● 中国の景気減速懸念
債券価格上昇要因（金利低下要因）	債券価格下落要因（金利上昇要因）
● 米国など海外市場の金利低下 ● 利下げ観測の高まり	● 株式市場や商品価格の上昇 ● 利上げ観測の高まり

《ファンドの目的・特色》

ファンドの目的

- ・オーストラリア・ドル建ておよびニュージーランド・ドル建ての公社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。

ファンドの特色

- ・オーストラリア・ドル建ておよびニュージーランド・ドル建ての公社債等（※）に投資します。
（※）「公社債等」には、コマーシャル・ペーパー等の短期金融商品を含みます。
- ・公社債等の格付けは、取得時において AA 格相当以上※とすることを基本とします。
※ムーディーズで Aa3 以上または S&P で AA- 以上もしくはフィッチ・レーティングスで AA- 以上
- ・毎年 5 月 15 日および 11 月 15 日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

《投資リスク》

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。**基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

公社債の価格変動 （価格変動リスク・信用リスク）	公社債の価格は、一般に金利が低下した場合には上昇し、金利が上昇した場合には下落します。また、公社債の価格は、発行体の信用状況によっても変動します。 特に、発行体が債務不履行を発生させた場合、またはその可能性が予想される場合には、公社債の価格は下落します。組入公社債の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。
為替変動リスク	外貨建資産については、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。
カントリー・リスク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。
その他	解約資金を手当てするため組入証券を売却する際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。

《ファンドの費用》

投資者が直接的に負担する費用				
	料率等	費用の内容		
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉 <u>2.2%(税抜2.0%)</u>	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。		
信託財産留保額	ありません。	—		
投資者が信託財産で間接的に負担する費用				
	料率等	費用の内容		
運用管理費用 (信託報酬)	<u>年率1.375%</u> <u>(税抜1.25%)</u>	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。		
委託会社	配分については、 下記参照	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。		
販売会社		運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。		
受託会社		運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。		
	〈運用管理費用の配分〉 (税抜) (注1)	委託会社	販売会社 (※)	受託会社
	500億円未満の場合	販売会社および 受託会社への配分を 除いた額	年率0.70%	年率0.05%
	500億円以上 1,000億円未満の場合		年率0.75%	
	1,000億円以上の場合		年率0.80%	
	(※) 「ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン (毎月分配型) (愛称：杏の実)」および「ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン (年2回決算型) (愛称：杏の実 (年2回決算型))」の各販売会社の取扱純資産総額の合計額に応じて			
その他の費用・ 手数料	(注2)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。		

(注1) 「運用管理費用の配分」には、別途消費税率を乗じた額がかかります。

(注2) 「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

※運用管理費用の信託財産からの支払いは、毎計算期末または信託終了時に行なわれます。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

購入単位	最低単位を 1 円単位または 1 口単位として販売会社が定める単位
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額（1 万円当たり）
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払い下さい。
換金単位	最低単位を 1 口単位として販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額（1 万円当たり）
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して 5 営業日目からお支払いします。
申込受付中止日	シドニー先物取引所の休業日 （注）申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。
申込締切時間	原則として、午後 3 時 30 分まで（販売会社所定の事務手続きが完了したもの） なお、販売会社によっては異なる場合がありますので、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込には制限があります。
購入・換金申込受付 の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入、換金の申込みの受け付けを中止することがあります。
繰上償還	次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させること（繰上償還）ができます。 ・受益権の口数が 30 億口を下ることとなった場合 ・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき
収益分配	年 2 回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。 （注）当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。なお、お取扱い可能なコースおよびコース名については異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に NISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。 当ファンドは、NISA の「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。 ※税法が改正された場合等には変更される場合があります。

《 当資料のお取り扱いにおけるご注意 》

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
- 分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ

▶ **大和アセットマネジメント** フリーダイヤル 0120-106212（営業日の9:00～17:00）

当社ホームページ

▶ <https://www.daiwa-am.co.jp/>

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○	○		
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○	○		
株式会社愛媛銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第6号	○			
株式会社京葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第56号	○			
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3283号	○		○	○
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○		○
第四北越証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第128号	○			
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○			○
南都まほろば証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第25号	○			
ニュース証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第138号	○		○	
播陽証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第29号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
三菱UFJ えスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
リーディング証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第78号	○			

8 / 8